

予算決算委員会審査状況

9月9日の本会議にて議案第33号から議案第35号と、議案第48号から議案第55号の11件の議案が付託されました。同日、本委員会を開き各分科会に分担送付し、各分科会審査後、22日に再び本委員会を開き、各分科会委員長から審査報告を受けました。採決の結果、付託された11議案は原案のとおり可決及び認定すべきものと決定しました。各分科会の審査概要の一部は次のとおりです。

○議案第33号「平成26年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)」について

総務分科会

(問) 税番号制度システム整備費の補助金について、平成28年1月からのスタートだが、こういった形のシステム整備をするのか。今後のスケジュールは。

(答) 平成26年度、平成27年度にかけて改修を実施する。内容は既存のデータベースで管理する納税義務者、法人や軽自動車を所有している方、土地、家屋、償却資産を持つ方の情報とマイナンバーを特定する機能を付加する改修となる。

文教環境分科会

(問) 学校管理費における「つり天井改修」について、国府・郡山・長太小学校の屋内運動場のつり天井は除去するというのでよいか。また、つり天井を除去した後の暑さ対策について。

(答) 該当の屋内運動場については、元来つり天井の仕様であったため、新たな設置基準に基づき、つり天井を再設置する予定でいた。その理由は、つり天井構造の建物について、つり天井を撤去すると温度調整や防音対策に支障が生じるからである。しかし、文部科学省からは、学校の屋内運動場が災害時の避難所としての機能を兼ね備えることから、「つり天井の撤去」を強力に要請してきた。そこで、再設置から撤去へと方針を変更した。子どもたちが快適に利用できる工法を可能な限り採用して対応する方針である。

生活福祉分科会

(問) 各種がん検診費の受診率について。

(答) 平成25年度乳がん検診は11.9%、子宮がん検診は13.3%。今回の補正は、平成21年度から平成24年度の間、無料クーポン券を未使用の人に対して再度、無料クーポン券を発送しようとするものである。子宮がん検診は、20歳から40歳までの5歳刻みの人を対象に15,759人で、乳がん検診は、40歳から60歳までの5歳刻みの人を対象に15,603人である。

産業建設分科会

(問) 鈴鹿F1日本GP地域活性化協議会費について、協議会へ補助として支払うものなのか、内訳はどうか。

(答) 地域活性化協議会に運営補助として支払うものである。内訳は、道路の通行規制をかけるための警備員関係に約100万円、バスの滞留所として利用する白子漁港内の土地の整備費として約60万円、ホームページの改修に約40万円、計200万円を予定している。

○議案第48号「平成25年度鈴鹿市一般会計決算の認定について」

総務分科会

(問) 消防施設費の耐震性貯水槽設置工事に要した経費について、整備はどの地区で行ったのか、金額の明細は。歳入の国庫補助との兼ね合いで、市費で負担した額の割合はどうか。

(答) 整備した箇所は5箇所あり、加佐登小学校で398万2,650円、国府小学校は367万6,050円、道伯町公民館は399万5,250円、合川コミュニティセンターは399万8,400円、庄野共進三丁目公園は489万5,100円である。国庫補助が982万5,000円なので、市費の負担分は1,072万2,450円である。

文教環境分科会

(問) 学校図書館巡回指導員の配置についての内容。また、学校と学校図書館巡回指導員との関係について。

(答) 平成25年度は、小学校30校に7回ずつ、中学校10校に5回ずつ、専門的な司書の資格を持つ学校図書館巡回指導員を派遣した。学校図書館巡回指導員は、司書教諭を中心とした学校図書館の活用についてサポートに入るというものである。しかし、司書教諭は学級担任もしており、学校図書館活用を推進する役割が十分に発揮できず、読書指導にとどまっており、課題と考えている。